

第80期 報告書

2019年4月1日 ▶ 2020年3月31日

株主の皆様へ	1
連結業績ハイライト	2
部門別の概況	3
連結財務諸表	5
個別財務諸表	7
会社の概況	8
株式の状況	9



太平電業株式会社

証券コード：1968



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援、ご指導を賜り有難く厚く御礼申し上げます。

ここに第80期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）の事業ならびに会社の概況についてご報告申し上げます。

2020年6月

代表取締役
社長執行役員

野尻 穰

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境が堅調に推移したものの、消費税率引き上げによる消費の落ち込みや相次ぐ台風などの自然災害の影響から経済の減速感が強まりました。さらに、米中通商摩擦による国際情勢の動向や今年に入り新型コロナウイルスの感染拡大が世界経済に与える深刻な影響から、景気の先行きは暗雲立ち込める事態となりました。

当社グループの主力事業である電力業界におきましては、電力・ガス小売全面自由化に伴い、電力会社間における顧客獲得競争や異業種からの新規参入による業種の枠を越えた価格競争が激化したことから、厳しいコスト削減や生産性の向上が求められております。一方、原子力発電所の再稼働に向けては新規規制基準適合性審査に向けて的確な対応と自主的な安全性向上に取り組むことで信頼回復に努めております。

このような事業環境のもと、当社グループは「企業基盤の継続整備と展開」と「収益基盤の確保と一貫体制の構築」を基本とする「中期経営計画（2017年度～2019年度）」の最終年度にあたり、目標達成に注力してまいりました。アライアンスの構築、人材の技能・技術向上による施工体制の強化を図り、また、発電事業に参入するために「電力事業本部」を新設し、自社発電所を保有することで、発電所の運転・日常保守から得た知見により各種プラント設備の建設・補修等に向けた広角的な営業活動の実施と、さらに内部統制システムの一層の強化およびお客様の需要を迅速に把握し柔軟に対応するため「北陸支店」を開設するなど、企業の持続的成長の実現に向けて取り組んでまいりました。

当連結会計年度の業績につきましては、受注高1,253億9千3百万円（前年同期比21.5%増）、売上高1,194億5千9百万円（前年同期比18.1%増）、うち海外工事は52億2千5百万円となりました。利益面につきましては、一部の大型工事の収支が改善したことから営業利益94億5千万円（前年同期比170.6%増）、経常利益95億8千万円（前年同期比138.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益61億9千万円（前年同期比121.4%増）となりました。

当連結会計年度の期末配当金につきましては、2020年2月7日開催の取締役会において、長期安定的な利益還元を基本とする剰余金の配当方針に則り、普通配当70円に加え、2019年10月に西風新都バイオマス発電所が竣工を迎えたことから、株主の皆様へ感謝の意を表し、20円の記念配当を実施し、1株につき90円と決定いたしました。

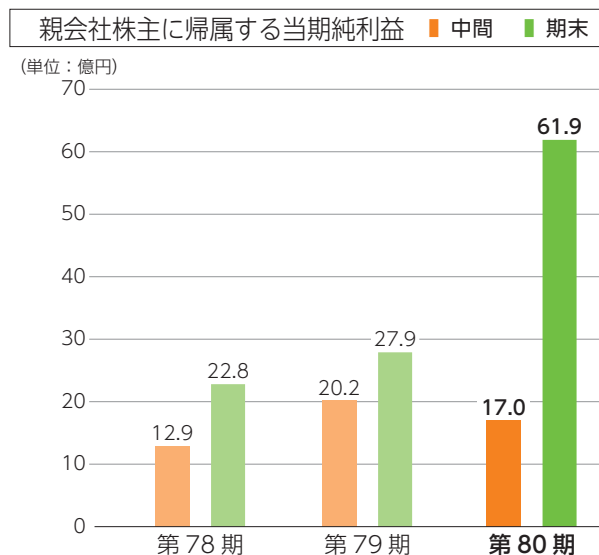
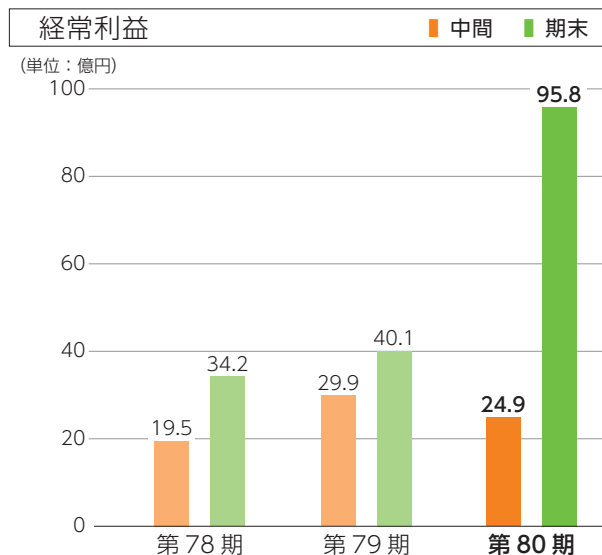
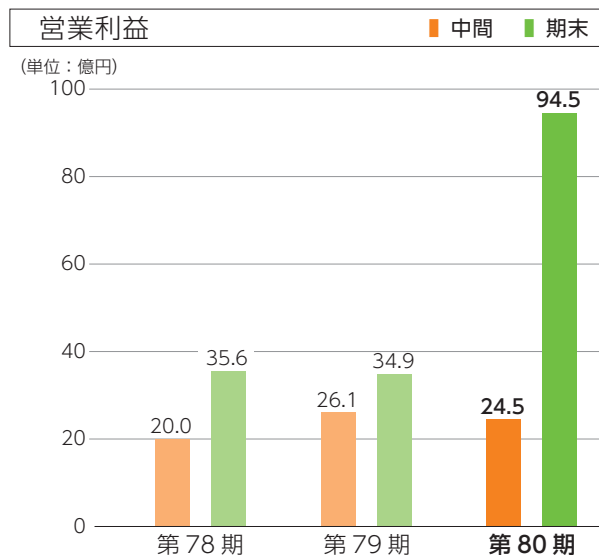
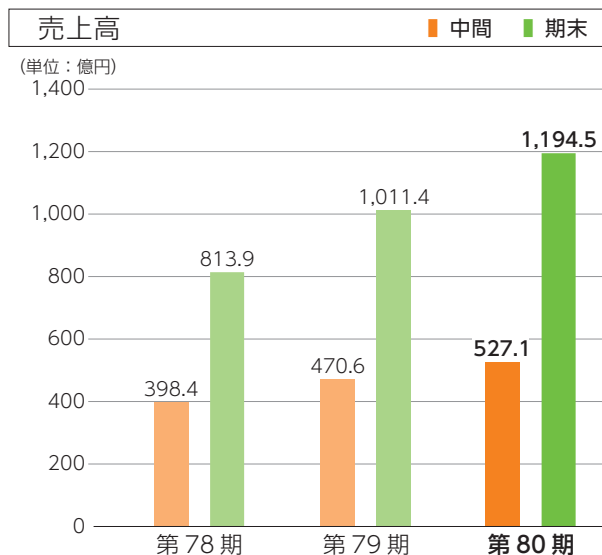
今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルスの世界的感染拡大に終息が見えないことにより、景気が大きく下振れし極めて不安定な状況で推移すると予想されます。こうした状況に加え、英国のEU離脱後の交渉動向、米中貿易摩擦の再燃、世界金融市場の混乱による影響等が景気の下振れリスクの要因として懸念されており、景気の先行きはさらに不透明な状況が続くと思われます。

当社グループの主力事業である電力業界は、「電力システム改革」の最終段階を迎え、効率化を進める一方、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として危機管理体制の構築や各電力会社間の連携強化が一層進んでいくと思われれます。

当社グループは、本年4月に「持続的発展のための企業基盤向上」、「事業環境変化に対応できる収益基盤の確保」を骨子とした「中期経営計画（2020年度～2022年度）」をスタートしました。内部統制や企業リスクマネジメント強化によるコンプライアンス経営の更なる徹底、建設業・発電事業に必要な公的資格保有等を目的とした人材の育成、設備を増強した自社工場を活用した受注活動の推進、IT・ICTを活用した技術開発による安全で品質の高い工事施工などを実施してまいります。また、当社は72年の歴史により、長年にわたって建設・補修工事の施工能力を確立してきたことに加え、エンジニアリング、調達および運転の各業務に関するノウハウを蓄積することにより、より高いレベルでお客様のニーズに応える成長を経営戦略の柱としてまいります。さらに、外部環境に左右されない堅固な事業基盤を確立し、既存の事業領域のみならず風力・水力・地熱発電等の再生可能エネルギー等の新規分野についても、需要を的確に把握し受注活動を行い、新たな収益基盤の確保を目指してまいります。

連結業績ハイライト

(2020年3月31日現在)

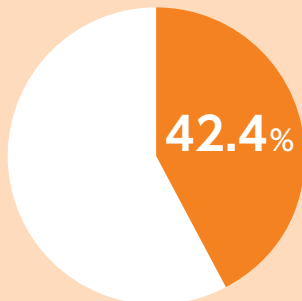


部門別の概況

(2020年3月31日現在)

建設工事部門

売上高構成比



売上高

506億9千5百万円

前年同期比31.7%増

利益

5億9千9百万円

前年同期は16億5千4百万円の損失

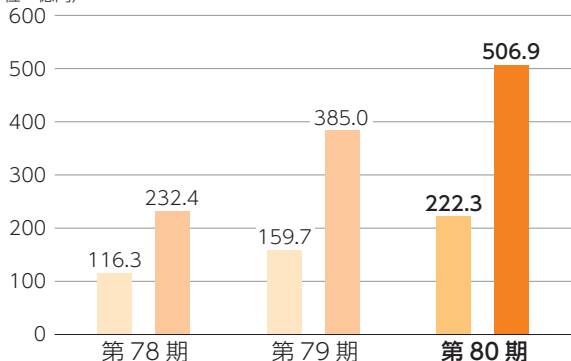
受注高は、前年同期に比べ環境保全設備工事が減少したものの、事業用火力発電設備工事が増加したことにより、部門全体として増加し、527億4千4百万円（前年同期比58.5%増、構成比42.1%）となりました。

売上高は、前年同期に比べ事業用火力発電設備工事および環境保全設備工事が増加したことにより、部門全体として増加し、506億9千5百万円（前年同期比31.7%増、構成比42.4%）となり、利益は5億9千9百万円（前年同期は16億5千4百万円の損失）となりました。

売上高の推移

■ 中間 ■ 期末

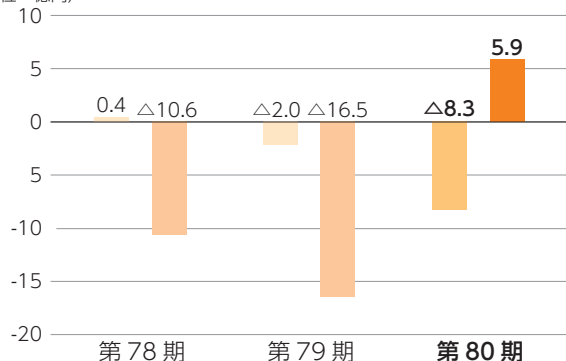
(単位：億円)



損益の推移

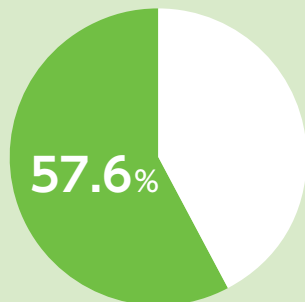
■ 中間 ■ 期末

(単位：億円)



補修工事部門

売上高構成比



売上高
687億6千4百万円

前年同期比9.8%増

利益
111億5千3百万円

前年同期比35.5%増

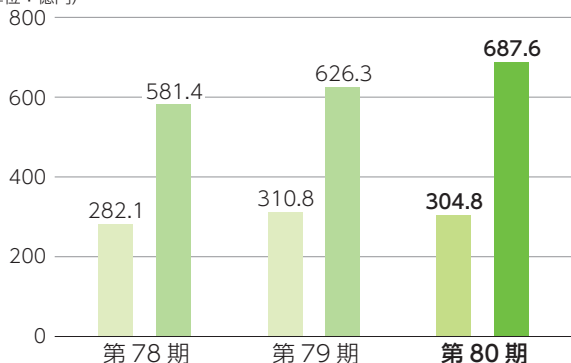
受注高は、前年同期に比べ原子力発電設備工事が減少したものの、事業用火力発電設備工事および製鉄関連設備工事が増加したことにより、部門全体として増加し、726億4千9百万円（前年同期比3.9%増、構成比57.9%）となりました。

売上高は、前年同期に比べ事業用火力発電設備工事が減少したものの、原子力発電設備工事および製鉄関連設備工事が増加したことにより、部門全体として増加し、687億6千4百万円（前年同期比9.8%増、構成比57.6%）となり、利益は111億5千3百万円（前年同期比35.5%増）となりました。

売上高の推移

■ 中間 ■ 期末

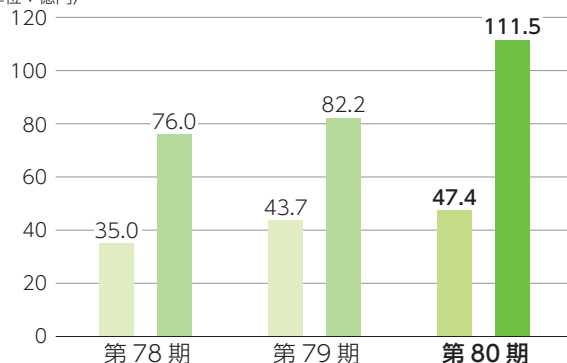
(単位：億円)



損益の推移

■ 中間 ■ 期末

(単位：億円)



連結財務諸表

■ 連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科目	第80期 2020年3月31日現在	第79期 2019年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	95,027	76,797
固定資産	32,543	31,197
有形固定資産	20,304	18,458
無形固定資産	404	402
投資その他の資産	11,834	12,336
資産合計	127,571	107,995
(負債の部)		
流動負債	38,748	29,953
固定負債	21,199	14,677
負債合計	59,947	44,631
(純資産の部)		
株主資本	66,572	61,610
資本金	4,000	4,000
資本剰余金	4,888	4,888
利益剰余金	59,845	55,179
自己株式	△ 2,162	△ 2,457
その他の包括利益累計額	222	1,017
その他有価証券評価差額金	1,144	2,191
為替換算調整勘定	△ 155	△ 152
退職給付に係る調整累計額	△ 766	△ 1,021
非支配株主持分	828	734
純資産合計	67,623	63,363
負債純資産合計	127,571	107,995

■ 連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	第80期 2019年4月1日から 2020年3月31日まで	第79期 2018年4月1日から 2019年3月31日まで
売上高	119,459	101,141
売上原価	102,165	89,943
売上総利益	17,293	11,198
販売費及び一般管理費	7,843	7,706
営業利益	9,450	3,491
営業外収益	692	864
営業外費用	562	342
経常利益	9,580	4,013
特別利益	88	453
特別損失	250	3
税金等調整前当期純利益	9,419	4,463
法人税、住民税及び事業税	3,229	1,541
法人税等調整額	△ 99	55
当期純利益	6,289	2,866
非支配株主に帰属する当期純利益	99	70
親会社株主に帰属する当期純利益	6,190	2,795

■ 連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

2019年4月1日から 2020年3月31日まで	株主資本					その他の包括利益累計額					非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その 他有 価差 額	為 替 調 整	換 算 定 額	退 職 給 付 累 計	そ の 他 の 包 括 利 益 計 額		
2019年4月1日残高	4,000	4,888	55,179	△ 2,457	61,610	2,191	△ 152	△ 1,021	1,017		734	63,363
連結会計年度中の 変動額												
剰余金の配当			△ 1,523		△ 1,523							△ 1,523
親会社株主に帰属する 当期純利益			6,190		6,190							6,190
自己株式の取得				△ 0	△ 0							△ 0
自己株式の処分		0		295	295							295
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の 変動額(純額)						△ 1,046	△ 3	255	△ 795		93	△ 701
連結会計年度中の 変動額合計	-	0	4,666	294	4,961	△ 1,046	△ 3	255	△ 795		93	4,259
2020年3月31日残高	4,000	4,888	59,845	△ 2,162	66,572	1,144	△ 155	△ 766	222		828	67,623

■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	第80期	第79期
	2019年4月1日から 2020年3月31日まで	2018年4月1日から 2019年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,587	△ 990
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,332	△ 2,116
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,022	3,363
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 70	70
現金及び現金同等物の増減額	△ 967	326
現金及び現金同等物の期首残高	17,942	17,615
現金及び現金同等物の期末残高	16,974	17,942

個別財務諸表

■ 貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科目	第80期 2020年3月31日現在	第79期 2019年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	91,307	73,993
固定資産	31,683	30,154
有形固定資産	19,035	17,193
無形固定資産	324	299
投資その他の資産	12,323	12,660
資産合計	122,990	104,147
(負債の部)		
流動負債	37,490	29,150
固定負債	19,795	12,927
負債合計	57,286	42,077
(純資産の部)		
株主資本	64,545	59,881
資本金	4,000	4,000
資本剰余金	4,888	4,888
利益剰余金	57,816	53,447
自己株式	△ 2,160	△ 2,455
評価・換算差額等	1,159	2,189
その他有価証券評価差額金	1,159	2,189
純資産合計	65,704	62,070
負債純資産合計	122,990	104,147

■ 損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	第80期 2019年4月1日から 2020年3月31日まで	第79期 2018年4月1日から 2019年3月31日まで
売上高	113,246	96,813
売上原価	97,273	86,578
売上総利益	15,972	10,234
販売費及び一般管理費	7,148	7,084
営業利益	8,824	3,150
営業外収益	602	809
営業外費用	568	297
経常利益	8,858	3,662
特別利益	172	742
特別損失	237	165
税引前当期純利益	8,793	4,239
法人税、住民税及び事業税	3,014	1,420
法人税等調整額	△ 113	36
当期純利益	5,892	2,782

会 社 の 概 況

(2020年6月26日現在)

■ 会社概要

- 商 号 太平電業株式会社
(英文社名 TAIHEI DENGYO KAISHA, LTD.)
- 設 立 1947年3月25日
- 資 本 金 40億80万円
- 営 業 目 的
1. 発電および変電設備の設計ならびに施工
 2. 土木工事および建築工事の設計ならびに施工
 3. 鉱山、化学機械設備および清掃施設の設計ならびに施工
 4. 電気通信設備、送配電線路、動力線および屋内線の設計ならびに施工
 5. 塗装工事業
 6. 電気および化学工業用機器の製作、修理ならびに販売
 7. 自動車および建設機械等の修理ならびに販売
 8. 労働者派遣事業
 9. 発電および電気の供給に関する事業
 10. 前各号に付帯する事業

■ 主要な事業所

- 本 社 東京都千代田区神田神保町二丁目4番地
- 支 店
- 北海道支店 (北海道札幌市)
 - 東北支店 (宮城県仙台市)
 - 東京支店 (東京都千代田区)
 - 名古屋支店 (愛知県名古屋市)
 - 北陸支店 (富山県富山市)
 - 若狭支店 (福井県敦賀市)
 - 大阪支店 (大阪府大阪市)
 - 中国支店 (広島県広島市)
 - 九州支店 (福岡県北九州市)
- 子 会 社
- 株式会社日本機械製作所 (愛知県名古屋市)
 - 豊楽興産株式会社 (埼玉県久喜市)
 - 株式会社古田工業所 (埼玉県久喜市)
 - 富士アイテック株式会社 (東京都千代田区)
 - TAIHEI ALLTECH CONSTRUCTION (PHIL.) INC. (フィリピン)
- 関 連 会 社 東京動力株式会社 (神奈川県横浜市)

■ 役員

取締役及び監査役

代表取締役社長執行役員	野 尻 穰
取締役専務執行役員	竹 下 康 司
取締役常務執行役員	鶴 長 徹
取締役上席執行役員	日 下 慎 也
取締役上席執行役員	伊 藤 浩 明
取締役上席執行役員	有 吉 正 樹
社 外 取 締 役	水 口 義 久
社 外 取 締 役	弓 場 法 司
社 外 取 締 役	加 藤 祐 司
社 外 取 締 役	浅 井 知 勉
常 勤 監 査 役	光 富 勉
常 勤 監 査 役	小笠原 広 己
社 外 監 査 役	大 村 廣 子
社 外 監 査 役	山 田 攝 子

執 行 役 員

上 席 執 行 役 員	木 本 利 宗
執 行 役 員	竹 田 裕 治
執 行 役 員	大 関 克 彦
執 行 役 員	山 内 勝 則
執 行 役 員	杉 原 和 忠
執 行 役 員	高 橋 秀 明
執 行 役 員	近 嵐 弘 樹
執 行 役 員	岡 本 真 吾
執 行 役 員	小 畑 忠 司
執 行 役 員	油 治 誠
執 行 役 員	内 山 勝 見
執 行 役 員	三 上 功 二
執 行 役 員	事 口 悟
執 行 役 員	龍 野 淳 一

株式の状況

(2020年3月31日現在)

■ 発行可能株式総数 69,479,500株

■ 発行済株式の総数 20,341,980株

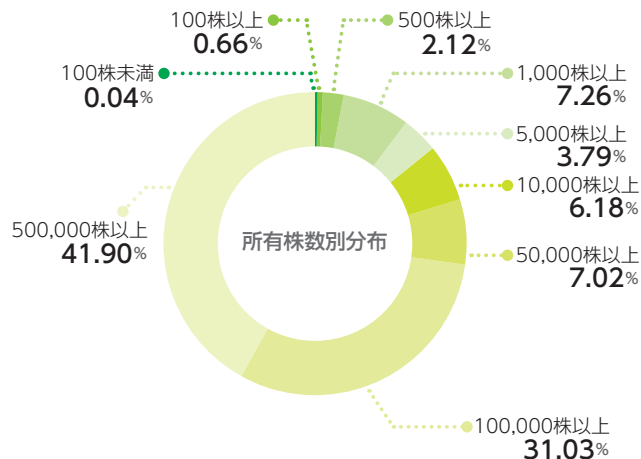
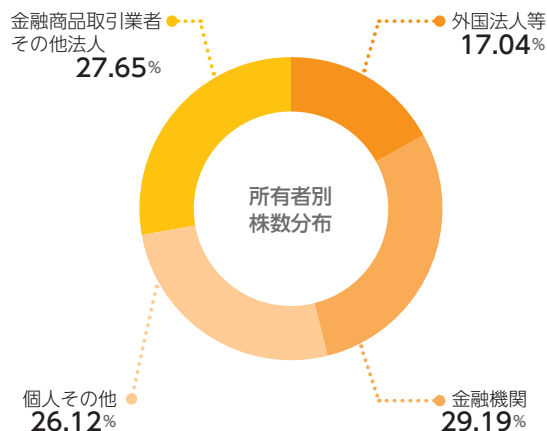
■ 株主数 2,893名

■ 大株主（上位10名）

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社ブロードピーク	1,138	5.97
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社（信託口）	1,003	5.27
第一生命保険株式会社	982	5.16
太平電業社員持株会	892	4.69
西華産業株式会社	753	3.96
株式会社三井住友銀行	696	3.65
株式会社光通信	673	3.53
株式会社三菱UFJ銀行	552	2.90
株式会社東京エネシス	537	2.82
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社（信託口）	489	2.57

(注) 持株比率は、「取締役向け業績連動型株式報酬制度」の導入において設定した、日本マスタートラスト信託銀行株式会社（役員報酬BIP信託口）所有の当社株式57,109株を除く自己株式（1,294,687株）を控除して計算しております。なお、自己株式は上記大株主から除いております。

■ 株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領 株主確定日	毎年3月31日
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711(通話料無料)
同連絡先	郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	日本経済新聞

■ ご注意

1. 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

太平電業株式会社

〒101-8416

東京都千代田区神田神保町二丁目4番地

TEL 03-5213-7211 (代表)

<https://www.taihei-dengyo.co.jp/>

太平電業

検索



UD
FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



環境保全のため、FSC®認証紙と植物油インキを使用して印刷しています。

